

帝国書院 DVD教材『日本の諸地域7 北海道地方』を活用した授業例

山形市立第七中学校 小林敏洋

1. はじめに

「地誌学習の復活」が、新しい学習指導要領中学校社会科地理的分野の目玉といえる。しかし、従前の地誌学習のように、各地域の自然、人口、産業、生活・文化などの特色を網羅的・並立的に学習することを繰り返してはならない。

このたびの改訂において、日本の諸地域の学習では、「地域の特色ある事象や事柄を中核として、それを他の事象と有機的に関連付けて、地域的特色を追究するようにすること。」とし、その際、七つの「考察の仕方」から、「学習する地域ごとに一つ選択」して学習するよう設定されている。

また、内容の取扱いにおいて、「地域に関する情報の収集、処理にあたっては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用するなどの工夫をすること」が求められており、地図、写真などのほか映像資料を積極的に活用していくことは、時宜にかなった学習方法といえる。

2. 映像資料の特徴と活用法

一般に、映像資料は大量の情報を瞬時に伝えることができるため、生徒の興味・関心を高め、実感をとめないながら学習させることができる。しかし、映像資料といっても、静止画（写真・イラストなど）と動画（VTR・DVDなど）では、その媒体の特性から授業における効果的な使い方にはおのずから違いが生じてくる。

動画の特性として、情報量が静止画と比較してより膨大であり、視覚と聴覚に同時に訴えることができることや疑似的な体験ができることが挙げられる。一方、一瞬で画面が流れるため、再現性が

低いなどの短所もあわせもっている。そのため映像資料は「じっくり思考・判断させにくい」「受動的な授業になりやすい」などのマイナス面が指摘されやすいが、それらの短所を十分ふまえたうえで、次のような点に留意しながら活用を図りたい。

- ① 視聴させる場面と内容を吟味し、視聴するねらいを明確にする。
- ② 視聴の前に視聴のポイントを明示する。
- ③ メモを取りながら視聴させる。
- ④ 1回の視聴時間は短く設定する。
- ⑤ ワークシートなどを活用して、視聴した内容の確認をする。（付録のワークシートのほか、学習内容に応じて独自にワークシートを準備するとより効果的である。）

3. 授業例

今回は、帝国書院『日本の諸地域7 北海道地方』を活用した授業例を紹介したい。本DVDにはチャプター機能がついており、必要な授業場面に即対応できることが特徴の一つになっている。授業するにあたり、この機能を十分に生かし、学習のねらいに沿って視聴させる場面を選択しながら単元構成してみた。

4. 本DVD教材の特徴

このDVD『北海道地方』は、歴史的背景を中核とした考察にもとづき展開できるよう編集されている。映像からは、アイヌの人々のくらしのようす（図1）や屯田兵の開拓のあゆみのほか、計画的な都市づくりなどをリアルに読み取ることができる。また、江戸後期の蝦夷地の探險から、戦後の石炭産業の繁栄まで、近世から近代の歴史を

北海道地方「歴史的背景を中核とした考察による展開例」(5時間扱い)

時	題 材	チャプター	段階	学習のねらいと視聴のポイント * () 内は紹介されている場所
1	北海道はどのような地方だろうか	オープニング 北海道地方の観光業	導入	北海道について知っていることを発表し合うとともに、北海道のイメージを確認させ、本単元への興味・関心を高めさせる(札幌、小樽、知床等)。
		北海道地方の地形と気候	思考判断	北海道の地形・気候の特色を概観し、厳しい気候条件ながら、広大な大地と豊かな自然が広がっていることを実感させる(大雪山、洞爺湖等)。
2	開発の歴史と都市	北海道の開拓の歴史	思考判断	①札幌市の都市機能や人口の特色をつかませ、アイヌの人々の文化が現在も息づいていることに気づかせる(アイヌ語に由来する地名: 幌加内、室蘭、稚内等)。 ②屯田兵の開拓が北海道の都市の形成に大きな役割を果たしたことをつかませる。
		北海道地方の工業	確認整理	北海道の工業は、石炭や木材など資源やエネルギーの開発の歴史とかわりが深いことに気づかせ、社会の変化とともに工業の特色も変化してきていることを確認させる(夕張、室蘭、苫小牧)。
3	自然のきびしさを克服した歴史と農業	北海道地方の農業	思考判断	①土壌や気候の違いなどから、西部と東部では、農業の特色が大きく異なることに気づかせるとともに、北海道はわが国の食料基地としての役割を担っていることをつかませる。 ②土壌改良や品種改良などを重ね、きびしい自然条件を克服しながら、大規模農業を営んできたことを理解させる(石狩平野、十勝平野、根釧台地等)。
4	外国とのかかわりの歴史によって変化した漁業	北海道地方の漁業	課題把握	北海道は漁獲高が全国一でありながら、遠洋漁業の漁獲高が激減してきていることを把握させ、漁業がさかんなわけ、養殖と栽培漁業のちがいは何か、排他的経済水域とは何かなど本時で追究してみたい課題をつかませる(常呂港【北見】、釧路、根室等)。
5	学習のまとめ		整理	教科書p.257「学習のまとめ」を参考に、基礎事項を整理する。定着度が低い項目は、再度DVDを視聴し確認させる。

地 理

歴 史

公 民

地 図

社 会 科



図1 アイヌの人々



図2 十勝平野

大観できるように構成されている。

さらに、大雪山、知床半島など雄大な自然を美しい映像で捉えるとともに、農業(図2)・漁業・工業など北海道の人々の生活と産業の特色がコンパクトにまとめられている。

5. おわりに

「動画から要点を読み取らせることは難しい」という声を聞くことがある。もちろん、年に数回の活用では、そのような意見も当然ではあるが、

回数を積み重ねることにより、生徒の反応は激変してくる。授業者は一人でも、35人学級では、生徒は授業者の35倍の眼で視聴していることを忘れてはならない。

生徒たちは、授業者が想定している以上に映像資料の視聴を楽しみにしており、かつ多くのことながら読み取り、吸収することができる。基礎的・基本的な知識・技能の習得とあわせ、思考力・判断力・活用力の育成が求められる今こそ、映像資料の一層の活用を図りたい。